

湖頭

令和4年10月5日
富士市立須津小学校
学校だより（10月号）

人を気遣う心

校長 望月 秀一

朝夕の風が秋を感じる季節になりました。保護者の皆様には、日頃より新型コロナウイルス感染防止への取組に感謝申し上げます。また、地域の皆様には、「子どもたちを楽しませてあげたい。」との思いから、延期していましたお祭りを、10月15日（土）に「須津ふるさと秋まつり」として再度企画していただき大変ありがたく思っています。子どもたちも大変楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

9月16日に**5年生は「みどりの学校」**に行ってきました。1日の日程の中で、洞窟探検、スコアオリエンテーリング、キャンプファイヤーの活動を、仲間と一緒に楽しく取り組むことができました。私は、子どもたちの様子から、様々な子どものよさを発見することができました。自然がいっぱいの中で、心が解放されたのでしょうか。いつも以上に、目を輝かせて生き生きと活動する姿は、とても素敵でした。また、活動の場面で「大丈夫。」と、仲間に優しく声を掛け相手を思いやる姿に、胸が熱くなりました。学校を離れて、自然と向き合い、仲間と一緒に取り組む中で、自分も仲間も大切にしようとする心が芽生えたと感じました。「みどりの学校」で培った思いやりの心を、学校生活でも広げて行ってほしいと願っています。



9月29・30日に**6年生は「修学旅行」**に東京方面へ行ってきました。私はここでも、子どもたちが仲間と一緒に成長していく姿をたくさん見ることができました。バスの車内では、レクリエーション係が楽しい企画を考えて盛り上げていました。クイズを通して、仲間の意外な一面を知ることができ、互いを認め合う素敵な時間になりました。また、国会議事堂が見えた時の歓声や、都内のビル群の様子に感激するなど、首都東京に行くことができ良かったと改めて思いました。旅行日程も予定した時間で行動することができ、添乗員さんやバスガイドさんからも、時間を意識して行動することができて素晴らしいとほめていただきました。子どもたちの動きのよさに拍手を贈りました。



修学旅行は、自分たちだけで旅行しているのではなく、多くの一般の方々にも接する機会があります。歩道で片側に並んでバスを待っている時に、自転車や歩行者の方を気遣う姿が見られました。また、ディズニーランドで、仲間の荷物を周りに迷惑が掛からないように、そっと動かし周囲に心を配る姿がありました。当たり前前の行動かもしれませんが、子どもたちが社会の一員として取るべき行動ができて、私は感動したことを思い出します。私たちは、自分だけで生活しているのではなく、多くの方々と、社会の中で互いに助け合い、気遣いながら生きています。一泊二日の楽しく思い出に残る修学旅行は、子どもたちが成長する貴重な時間になりました。須津小のリーダーとしてこれからの活躍をさらに期待しています。

9月11日は「PTA奉仕作業」を実施していただきました。100名を超える保護者の皆様に参加していただき、トイレ・廊下・樹木の剪定や草取りなど、子どもたちの教育環境を整備していただきありがとうございました。保護者の皆様のパワーに圧倒され、頭が下がる思いです。参加された皆様、お疲れさまでした。

